

# U.S. Indicators

発表日: 2022年2月4日(金)

## 米国 感染急拡大で低下も堅調さ維持(1月ISM非製造)

～1-3月期の経済成長率の鈍化を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

22年1月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、59.9(前月62.3)と前月比▲2.4%p低下したものの、市場予想の59.5を上回った。オミクロン変異株の感染急拡大による人手不足の深刻化を背景に2カ月連続で低下したが依然高い水準を維持している。人手不足、物流の停滞、供給制約、インフレ高進など多くの逆風を受けながらも、非製造業部門は需要の強さを映じて堅調さを維持している。

企業からの報告で、建設業、金融・保険、ヘルスケア・社会補助、情報、公益は人手不足の問題を報告した。一方、小売業は、オミクロンの影響、インフレ、サプライチェーンの問題の大幅な改善には不確実性が残ったままだが、事業の見通しは依然として慎重ながら楽観的と報告したほか、卸売業では多くの主要製品の供給が制限されているが、売上と収益性は引き続き堅調と指摘された。

1月は、18業種中15業種が拡大した(12月16業種)。拡大した業種では、強い順に建設業、小売業、医療・社会支援、公的部門、不動産業、公益、専門・科学・技術サービス、その他サービス、教育サービス、金融・保険、鉱業、企業向けサービス、運輸・倉庫、卸売業、宿泊・飲食サービスとなった(下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)。縮小した業種は、農林水産業、芸術・娯楽・レクリエーション、情報産業の3業種(12月1業種)。

非製造業総合指数の構成項目では、入荷遅延が65.7(前月63.9、前月比+1.8%p)と上昇した一方、新規受注が61.7(前月62.1、前月比▲0.4%p)、活動指数が59.9(前月68.3、前月比▲8.4%p)、雇用が52.3(前月54.7、前月比▲2.4%p)と低下した。ただし、新規受注、活動指数は高い水準を維持しており、需要が依然強いことを示している。総合指数への寄与度では、入荷遅延が前月比+0.45%pの押し上げ寄与となった一方、活動指数が前月比▲2.10%p、雇用が前月比▲0.60%p、新規受注が前月比▲0.10%pの押し下げ寄与となった。

サブ項目では、新規輸出受注が45.9(前月61.5、前月比▲15.6%p)と50を下回っており、米国サービス輸出の失速を示唆している。輸入は51.1(前月55.5、前月比▲4.4%p)と低下したものの50を維持しており、サービス輸入の増加が続いていることが示された。

インフレ環境では、ディーゼル燃料、ガソリン、燃料、労働コスト、鉄鋼製品、電気部品、貨物等の上昇によって、仕入価格指数が82.3(前月83.9)と高い水準にとどまっております、価格上昇圧力の強い状態が継続している。

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数(非製造業景気指数と製造業景気指数の合成)」は、1月に59.7(12月62.0)と前月比2.3%p低下し、拡大ペースの鈍化が示された。四半期では、1

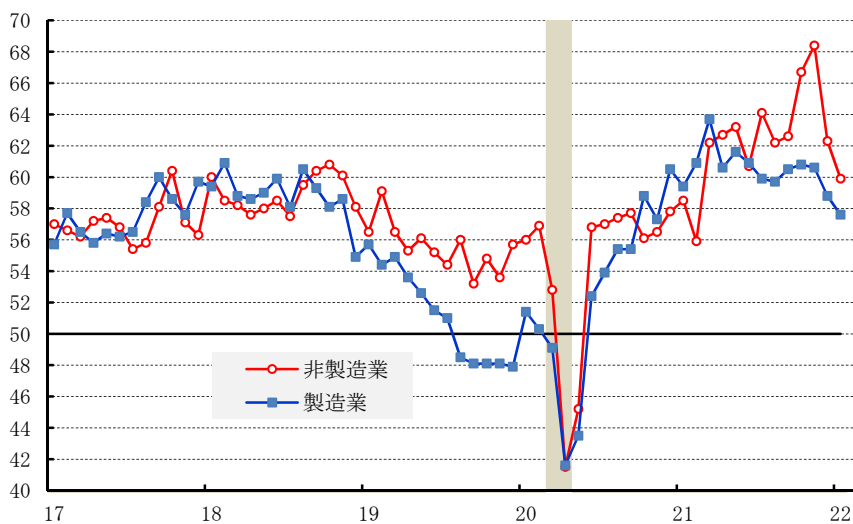
月の 59.7 という水準は、10-12 月期の 65.2 から大幅に低下しており、22 年 1-3 月期の実質 GDP が 10-12 月期の前期比年率+6.9%から大幅に減速していることを示している。

### I S M非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
21/01	58.5	60.2	61.0	55.2	57.8	50.9	64.7	47.0	49.2
21/02	55.9	56.8	53.1	52.8	60.8	55.2	71.6	57.6	58.9
21/03	62.2	66.7	65.8	55.2	61.0	50.2	73.5	55.5	54.0
21/04	62.7	63.2	63.5	57.8	66.1	55.7	76.0	58.6	49.1
21/05	63.2	64.5	63.3	54.7	70.4	61.1	79.1	60.0	51.5
21/06	60.7	61.9	62.8	49.7	68.5	65.8	78.8	50.7	49.9
21/07	64.1	66.3	64.1	54.1	72.0	63.5	81.4	65.8	49.2
21/08	62.2	61.5	63.8	54.1	69.6	61.3	75.9	60.6	46.9
21/09	62.6	63.4	64.2	54.1	68.8	61.9	79.5	59.5	46.1
21/10	66.7	69.4	69.0	52.8	75.7	67.3	83.0	62.3	42.2
21/11	68.4	72.5	68.3	57.0	75.7	65.9	83.0	57.9	48.2
21/12	62.3	68.3	62.1	54.7	63.9	62.3	83.9	61.5	46.7
22/01	59.9	59.9	61.7	52.3	65.7	57.4	82.3	45.9	49.4

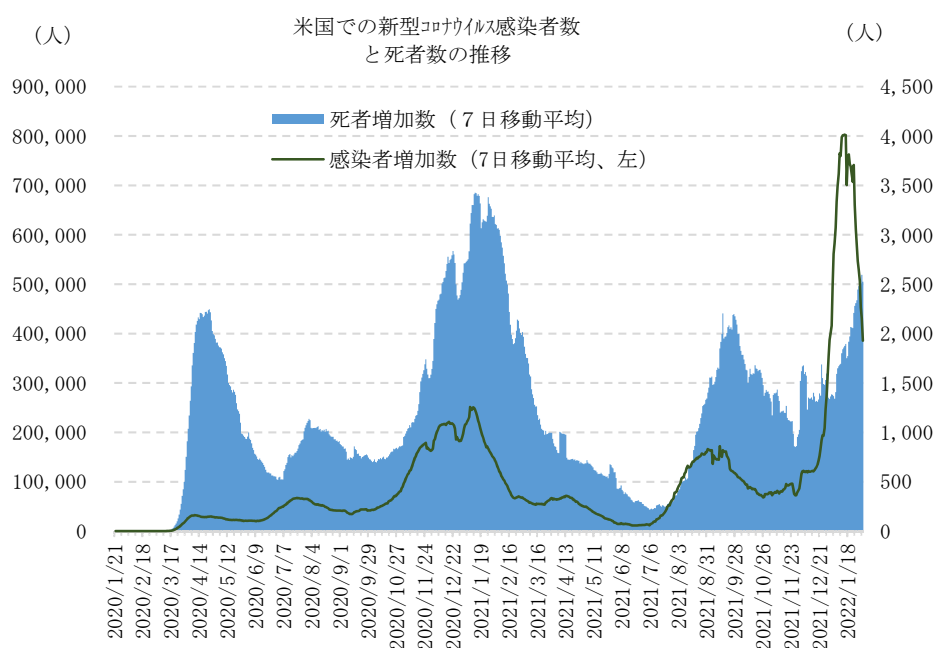
(出所) I S M

I S M景気指数の推移



(出所) I S M

(注) シャドー部は景気後退期



(出所) CDC等

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

